



伊達の自然「植物を中心に」

NPO法人 森・水・人ネット代表理事 木村益巳氏

1.アヤメ川自然公園

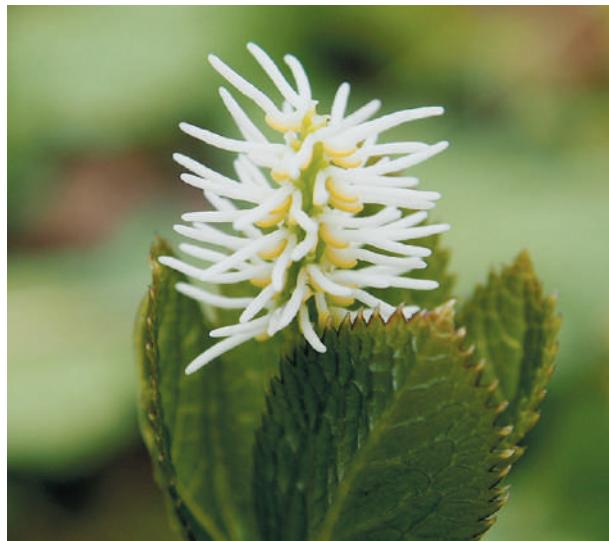
この自然公園は出来て30年ほどがたつ。この川の改修が市民からの提案でストップし、自然公園として残された。事の経緯はこうだ。伊達高校横の小川は野草に詳しい松田寛先生のフィールドだった。そこへ連れて行ってもらった筆者は喜んで野草や野鳥を見ていた。ところが下流から河畔林の伐採が始まった。このままでは、自然の小川はコンクリート三面張りになり、続く河畔林の自然は失われてしまう。何とかならないかと、松田夫妻に相談した。夫人は「反対運動などしてもダメ、公園にしたらいい」と妙案を出してくれた。

それから松田先生と植生を調べ、この小川がどこまで続いているのかも調査した。嬉しい事に紋別川の取水口に水門があった。これで水害問題はクリアできた。次に大町の歯科の堅田先生に相談した。先生は、よし

「おれがやってやる」と力を発揮してくれた。伊達市の「すぐやる課」などと話合い、地元にも出向き説明、話は順調?に進み、自然公園が出来上がった。言い出したのは筆者だったが、松田夫妻となにより堅田先生がいなければ自然は残せなかつた。ここは今でも、小川と雑木林が続く自然豊かな公園である。市街地に近く利用者も多い。小川のせせらぎを聞きながら、春は福寿草・キバナノアマナ・エゾエンゴサク・シロバナノエンレイソウ・ミズバショウやザゼンソウなど野の花をみたり、鳥の声をきいたり、エゾリスにも良く出会えるところもある。新緑や紅葉の時季など四季を通じて楽しめるところだ。

2.開拓記念館と野草園

開拓記念館は明治の入植以降に、北海道に無い木が沢山植えられ大きく育っている。例えば、アカマツ・クロマツ・カヤ・コウヤマキ・カラタチ・ナツツバキ・サイカチ・カキ・スギ・メタセコイヤ・モウソウチクなどなどである。ほかに北海道にある種々の木も大木になっている。ここ開拓記念館は街の中には珍しく森の雰囲気がある。その一角に野草園がある。文化研の市民ボランティアが10年ほど前より始めたもので、木は有ったが、草は芝生のように綺麗に刈りこまれていた。そこに腐葉土を運び入れて、野草の種を蒔き・時には移植して育てている。野草園づくりで一番手間のかかるのは雑草?退治だ。ここを訪れる人は増えつつあるが、野草園づくりの協力者が増えることも期待したい。春は一番花が多く福寿草から始まりショウジョ



ヒトリシズカ

ウバカラ・イチゲ・カタクリ・エンゴサク・エンレイソウ・スマレ・ヒトリシズカ・シラネアオイ・サンカヨウなどが次々と咲き、サクラソウ・クロユリと続く。野草100種類をめざしているがまだ途上にある。街の中で気軽に見られるのはありがたい事ではないだろうか。野草園にもエゾリスが出没するのも嬉しい。リスの為にクルミなどは拾わないでほしいと思っている。

3.善光寺自然公園と大木の森

この自然公園のあちこちでカタクリが咲く。カタクリの丘と墓地の辺りに群生地があり、今増えている。そこで、地元や伊達市の方々の了解の上で、カタクリの丘に保護のロープを廻した。後数年で立派なカタクリのピンクの絨毯が出来上がるだろう。福寿草やイチゲ、



善光寺のカタクリ

エンレイソウの仲間で特に美しいコジマエンレイソウもある。水色のエゾエンゴサクもチラホラと見える。東屋の近くにはフタリシズカがたまって咲いている。ヒトリシズカは林縁に咲く。スミレは薄桃色のヒナスミレがあるのも嬉しい。公園の管理で、一部の草刈りをやめるか・丈の低い草が残るような刈り取りが出来れば、野草の種類がもっと増えることだろう。そんな配慮がほしいと思う。岩の上に大木がどっしりと鎮座しているは実は珍しいことなのだが、良く見ると低木も野草も岩の上で生きている。チセの近くの岩の上に、ヒロハヘビノボラズ(広葉蛇不登)という面白い名前の木がある。鋭いトゲが沢山あるから蛇も登れないと言うことなのだが、その黄色い花・赤い実も綺麗だ。

4.北黄金貝塚「縄文の森」

市民ボランティアと行政がつくり始めた縄文の森は15年目に入った。苗から植えた木も随分と大きくなり、すでに花が咲いたり実がついたりして森らしくなってきた。散策路もつくり、野草の種まきや植え付けなども始まっている。ここで昆虫や野鳥やエゾリスまで見られるようになった。木が太く大きくなり実が増えると、もっと多くの生き物を見ることができるようになるだろう。これからが楽しみな森である。

5.アルトリ海岸の海浜植物

アルトリ海岸は自然の砂浜が美しい。伊達には、有珠以外では自然の砂浜がこんなに残されているところは無い。そういう貴重なところだ。その自然の砂浜には、ひとそろいの海浜植物がある。ハマナス・ハマヒルガオ・ハマニガナ・ハマエンドウ・ウンラン・シロヨモギ・コウボウムギ・ハマニンニクなどである。これらは砂浜の砂の移動を抑え砂浜の維持にも役立っている。

海に平行する道路から山側の丘の斜面は、また様相が違いエゾカララナデシコ・ナミキソウ・キンギンボク・カセンソウ・キリンソウ・ノコギリソウなどを見ることができる。



カセンソウ

キンギンボクは、花が白から黄色に変化することでその名があるが、赤い実が二つ瓢箪のようになる面白い低木だ。



ナデシコ

ほかにも、大臼山神社の岩上のシナノキ・ポロノツト森林公园・有珠山と紋別岳・乾町のアズキナシやハクウンボク・松ヶ枝のエゾカンゾウ群落・谷藤川・牛舎川自然公園・黄金のかたくり山などなど、伊達の自然や野草木の見所は沢山有るが、紙面も尽きたので、またの機会にしたい。

NPO森ネットの紹介

楽しく・価値ある活動を!!

- 自分にあった行事に参加が可能です。
- 自然に親しむ「観察会」を多数開催。
- 自然情報いっぱいの「会報」を発行しています。
- 森ネット「ホームページ」ではよりタイムリーで幅広い情報を掲載。
- 面白くて為になる「座学交流」もあります。
- 「自然の見所づくり」に取り組んでいます。
- 自然の「展示／講演」を行っています。
- 「樹木実践講座」「野の花写真教室」などを行います。
- 伊達などで自然を知る為の「調査」を実施中です。
- 行政などへ提言をおこないます。

会は「自然をまもる」こと・「自然をいかしたまちづくり」へ向けて、活動しています。
興味のある方はご一報ください。

(担当/木村 090-7057-3248)

E-mail : morinet@email.plala.or.jp
ホームページ: <http://www12.plala.or.jp/MoriNet/>